



たまき 社協だより

2022.5 No.82

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876番地1
TEL 0596-58-6915 / FAX 0596-58-6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-mail tamasya@amigo2.ne.jp

玉城町社協理念 ～笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくりの実現に向けて～



『栄町トーク』話し合いの様子



出張地域ケア会議

『栄町トーク』

元気ですたまき委員会では、町保健福祉課地域共生室が毎月開催する「地域ケア会議」の地域出張版として、小学校区単位となる小地域の集まりに出かけることになりました。

「ケア会議」は、地域課題を掘り起こし自分たちで解決のためのアイデアを出し、実践していくこうとするもので3月28日、第1回目を田丸地区栄町公民館で開きました。

この日は、栄町にお住まいの方30人ほどが参加し、「栄町地区のお宝発見！」と題して、意見を出し合っていたきました。

“昔の風景の良さ” “病院が多くて安心なまち” “だなど、たくさんの方の意見をいただきました。なかでも、元氣バスを使った“バスツアー”はつながりづくりの一つになりそうなユニークな意見として、すぐにでも実践したいと会場は盛り上がっていました。

今後、他の地域に出かけ、様々な意見・アイデアを探しにまいります。どうぞご参加ください。

令和4年度 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会 事業計画

理念 笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくり の実現に向けて

事業方針

新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。社会・経済の停滞は、所得や雇用機会の減少となり、減収や失業による生活困窮等の課題が顕在化しました。また、長期化する外出自粛による高齢者等の孤立や心身への影響も新たな課題となっています。

しかし一方で、これまで民生委員児童委員やボランティアの皆さんなど地域住民主体で取り組んできた、きめ細かな見守り訪問活動は、大人数での交流が制限されるなかでも、改めて地域のつながりの意義を確認する機会となりました。これら地域福祉活動支援については、これまでの活動を大切にしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに生まれた、リモートシステムを新たな繋がりがづくりに取り組んでいく必要があります。また、とりわけ介護・障害分野においては、在宅福祉事

業を中心に支援する本会において、感染予防と感染防止対策を講じ利用者個々のニーズに合った運営を心掛けています。

以上のように、コロナ禍においても、地域福祉を推進する中核的な団体として新しいソーシャルアクションを創造し、課題解決にも迅速に対応すべく町や関係機関、団体などと連携による生活支援、質の高いサービスの充実に努めるとともに、町民一人一人に寄り添うことのできる社協を目指し、職員が一丸となって各事業を推進してまいります。

重点項目

1. 法人運営
2. 地域福祉事業の推進
3. 相談・援助事業の推進
4. 受託事業の運営
5. 募金活動の推進
6. 在宅福祉事業の運営
7. 地域住民からのニーズ事業の実施

事業実施項目

1. 法人運営

- ① 法人運営の経営体制の強化を図ります。
- ② 会員制度の推進並びに会費の増強を図ります。
- ③ 社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への町民参加を促進する広報活動の強化を図ります。
- ④ 役員・職員の資質向上のため研修に取り組みます。
- ⑤ 各種関係機関・団体との連携強化を図ります。

2、地域福祉事業の推進

- ① 〈老人福祉活動事業〉身近な地域で福祉サービスを享受できる地域づくりを進めます。
 - ・サロン事業（高齢者サロン）の支援と推進
 - ・安否確認（ほのぼの便、歳末援助事業（まごころ訪問）
 - ・お風呂サロンの開催
 - ・独居高齢者支援事業ぴんの会の開催
 - ・給食サービス（第1、3日曜）、配食サービス（第2、4、5日曜）の実施

- ・安心配達事業の実施
- ・楽笑会の開催（手紙での世代間交流）
- ・ちよこつと有償ボランティアの充実

- ・思いやりdeプロジェクト（思いやりパック、生活応援サービス）
- ② 〈福祉育成・援助活動事業〉積極的に社会参加できる環境づくりに努め地域福祉事業を強化します。

- ・元気ですたまき委員会の運営
- 第3期地域ふくし力向上計画の周知・啓発、民生委員・福祉協力員との意見交換、あいさつ運動（明るく声かけ玉城の日）、あいさつ人及びあいさつ場所の拡充、地域福祉座談会の開催、元気ですたまき体操の推進（オリジナル健康体操）、あいさつウォーキングの活動展開）
- ・車いす及び物品貸し出し事業
- ・集いの場創生事業（ライブスペース勢の！）の実施
- ③ ボランティア活動育成事業 ボランティア活動及び福祉教育を推進します。

- ボランティアを養成し、登録者の拡充と活動を支援します。
- ・ボランティアセンター活動の充実
- ・ボランティア講座を開催し、

意識の啓発、情報の提供

- ・防災ボランティア、災害ボランティアの養成と災害ネットワーク支援事業の展開
- ・わが町クリーンアップの活動

- 町内の全学校を福祉協力校に指定し、児童生徒の福祉意識の高揚と活動への積極的な参加促進を図ります。
- ・福祉体験教室の開催
- ・福祉協力校の育成及び活動への助成

- ・児童生徒の福祉参画を促進
- ④ 障がい児・者福祉活動事業

障がい者（児）の自立と社会参加を促進し、みんなの理解を深め交流の輪を広げます。

- ・たまリンピック
- ・手話うち力フェ
- ・シッパスハーモニー&はっぴいの開催

3. 相談・援助事業の推進

- ① 福祉相談機能の充実強化を図り、関係機関との連携のもとに問題解決に努めます。

- ② 生活福祉資金及び世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めます。

- ③ 日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や、手続き・支払い等の援助を行います。

- ・日常生活自立支援事業
- ・生活困窮者自立支援事業（事業主体・県社協）

4. 受託事業の運営

- ① 高齢者福祉、青少年の育成、その他公共的活動の移動手段としたバス運行を行います。
- ② 住民の外出支援のためのバス運行を行います。（オンデマンド方式による元気バスの運行）
- ③ 各種福祉団体事業の運営を行います。

- ・民生委員児童委員協議会の運営
- ・老人クラブ連合会、町身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、町母子寡婦福祉会、町遺族会の5団体
- ④ 高齢者等交通安全対策事業（免許返納）
- ⑤ 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター事業）

5. 各種募金活動の推進

- ① 日本赤十字社募金の積極的協力、地域福祉活動の財源確保に努めます。
- ・日赤募金（5月）
- ② 共同募金活動を積極的に行い、地域福祉活動の財源確保に努めます。
- ・共同募金委員会（10月）
- ・共同募金（12月）
- ・歳末助け合い募金（12月）
- ・三重の赤い羽根共同募金百貨

店プロジェクト

- ③ 災害義援金への協力・活動を行います。
- ・チャリティ募金活動

6. 在宅福祉事業の運営

- ① 介護保険サービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努め、良質で安定した介護保険サービスの提供を行います。
- ・介護給付
- ・予防給付

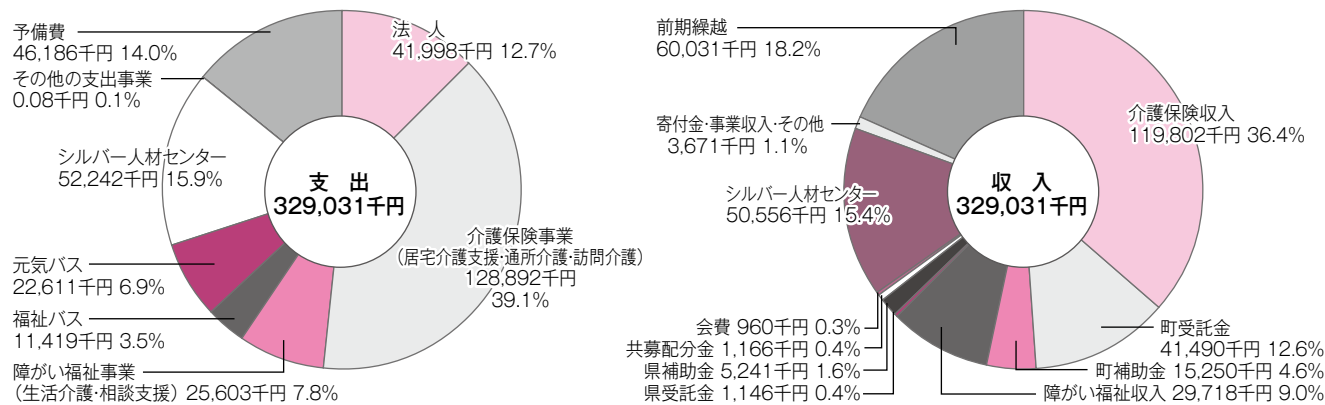
- ② 障害者総合支援法に基づくサービス提供体制の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努め、良質で安定した障害者サービスの提供を行います。
- ・生活介護事業（夢工房たまき）
- ・相談支援事業（みらい）
- ・居宅介護事業（ホームヘルプサービス）
- ・移動支援事業（ホームヘルプサービス）〈地域活動支援町単独事業〉

- ③ 安全安心な移送サービスを提供します。
- ・福祉有償運送事業

7. ニーズ事業の実施

- ① 地域住民のさまざまなニーズに対し、開拓性、創造性、即応性をもった事業を行います。
- ・シルバー人材センター事業の運営

令和4年度 玉城町社会福祉協議会収支予算



令和4年度 玉城町ボランティアセンター登録団体

健康しあわせ委員会

健診受診の啓発やウォーキング・スクエアステップ教室の開催、各地域での健康づくり活動の開催などを行っています。自分自身のために、住み慣れた地域のために、一緒に楽しく健康づくりに取り組みませんか？委員は随時募集中です。



参宮ブランド 擬革紙の会

擬革紙とは、江戸時代の紙加工の技術です。13年前に復活する活動をはじめ、今は製品も作っています。ZTVで、石井靖さんが絞り体験、放送されました。朱印帳等の体験も行っています。仲間を募集中!!

玉城町防災ボランティア

私達は町内全ての小学校で4年生には簡易トイレの組立や毛布を使ったタンカ作りと言った防災授業。また6年生を対象に避難所運営ゲームを行っています。そして全ての方々を対象に宿泊体験を含む防災キャンプ。行政と共に避難所運営マニュアル作りやタウンウォッチング等に取り組むと共に災害発生時には全力で復旧作業に取り組める様に活動しています。



玉城町には地域福祉を推進していくボランティア団体がたくさんあります。それぞれの団体は、それぞれの目的をもって活動していますが、地域ふくし力向上のために、強い絆でつながって活動しています。興味を持たれた方はぜひ活動にご参加ください。連絡先記載の団体は直接ご連絡いただくと、ボランティアセンターにご連絡いただければ、各団体へおつなぎ致します。

ボランティアセンター ☎58-6915

玉城町おもちゃ病院

壊れたおもちゃを修理して、子ども達に喜んでもらうと同時に、壊れても直せば使えることを見せて、物を大切にする気持ちを伝えている。

はな♪はな♪おはなし会

玉城町の子どもたちの豊かな心の成長を願って、乳幼児さんから小学生さんまでを対象に、絵本と紙芝居の読み語りをしています。読み手仲間も随時募集中です。

マジックふらわあ

簡単で楽しいマジックです。福祉施設、老人会、児童館、お祭り等で演技しています。いつでも、どこへでも「マジックの出前」をしま〜す。気軽にご連絡ください。特に準備していただく事はありません。



絵手紙サークルゆずりは会

現在11名の会員で季節の花、野菜、歳時記等をテーマに描いた絵手紙を、毎月約100枚作成し、各地区の民生委員の方を介して、独居老人の希望される方に届けさせて頂いています。これからも、「喜び」や「元気」が伝わる絵手紙作りに努めてまいります。なお、会員募集中ですので興味のある方はご連絡ください。



悠ゆう塾サポーター

介護予防事業 悠ゆう塾のサポーター活動を行っています。会場の準備や受付、参加者への声かけなど、さまざまなサポートでみんな元気に。

玉城語り部会

玉城町を訪れる人々に対して、町の財産である田丸城や熊野街道を案内することを目的として結成された団体です。

サポーターさくら

主な活動は、認知症サポーター養成講座の開催、高齢者見守り声かけ訓練です。たまきの集い場「協」や介護予防事業「健々教室」への参加・協力。認知症の人への対応の仕方の寸劇製作、RUN 伴、家族会への参加・協力を行っています。認知症サポーターを増やし、安心して暮らせるまちづくりのお手伝いをしています。[全員数]99名(女8:男2) 連絡先 サポーターさくら事務局(合同会社たまきあい) ☎0596-58-2251



玉城町 食生活改善推進協議会

活動目標として「私達の健康は私達の手で ~のばそう健康寿命 つなごう郷土の食~」をスローガンにしています。健康づくりの3つの柱、「食生活・運動・休養」を基本とし、料理教室などを開催し正しい食生活・健康づくりを目指しています。



青色回転灯パトロール(ボラ)

青色回転灯ボランティアパトロール隊とは? 「安心して暮らせる町」を目指すために、ボランティアの方々によって構成されています。活動内容は、月、金曜の午後、町の青色回転灯装着車両に乗車し、町内を犯罪抑止・防犯活動パトロールしていただいております。

玉城町虹の会

平成4年『虹の会』発足以来・給食サービス(第1、第3日曜日)・各クリーンアップ作戦などの参加・介護予防事業(健康体操)のサポート・夢工房のお手伝い等ボランティア精神に基づいた活動を30年行っています。会員募集中です。ご協力お願いいたします。

福祉の標語 入選作品

テーマ 「ありがとう（感謝）」

元気ですたまき委員会では、みんなが安心して元気に生活できる町づくりを目指しています。そこでみんなが元気になるような「福祉の標語」を、青少年を育てる会、健康しあわせ委員会と共同して、子どもから大人まで広く募集を行いました。応募総数969通の中からそれぞれ小学生の部、中学生の部、大人の部に分けて審査し、選ばれた作品は以下のとおりです。

※元気ですたまき委員会とは…

社会福祉協議会が設置する地域福祉を推進する委員会です。

※健康しあわせ委員会とは…

保健福祉課が設置する町民への健康づくりを啓発する委員会です。

※青少年を育てる会とは…

次代の郷土を担う青少年の健全育成を図ることを目的とする団体です。

大賞 〈敬称略〉

今日もまた、
無事に過ごせて
ありがとう。

大人の部
下村 謙之助
今の世は、事件・事故・災害・病気（コロナ等）が多く、我が身に関係のない事であってほしいと願いつつ、幸い無事に過ごしている毎日をありがたく感謝している日常です。

気づいたら
救われている
あなたの言葉

中学生の部
倉野 友萌（玉城中1年）
ふとした時に家族や友達との言葉に救われる事があるとおもいます。そんな少し心がほっとするような温かい気持ちをこの標語に込めています。いつもありがとうが伝わったうれしいです。

ぜったいに
わすれたらあかん
かんしゃのきもち

小学生の部
竹詰 昊太（外城田小2年）
どんなときでもどんな人にも自分にくれた事助けてくれたときの感謝を絶対に。あたりまえではない。

元気ですたまき委員会賞

街角に
響け元気な
ありがとう

大人の部
藤川 幸子
おたがいに感謝の心でつながっていきばもつと仲よく深い絆になると思います。そんな玉城町であってほしいです。

「ありがとう」
その場所にまた
笑顔咲く

中学生の部
佐々木 陽菜（玉城中3年）
ありがとうと伝えるだけで、伝えないとは大きくちがう。ありがとうは、魔法の言葉です。伝えれば、きっと相手は笑顔になってくれます。

「ありがとう」
そのたねとばそう
遠くまで

小学生の部
桔川 花（田丸小3年）
かんしゃのきもちがいろいろな場所から人へつながるようという思い。

青少年を育てる会賞

ありがとう
感謝を口に
広がる輪

大人の部
野口 美枝
ありがとうの感謝をきちんと口にすることで、人と人のつながりが深まり、地域がつながっていく。

ありがとう
ずっと忘れない
この気持ち

中学生の部
森 円香（玉城中2年）
一番忘れてはいけない言葉は「ありがとう」という感謝の言葉です。なので、みんなも忘れないように、いつでも言えるようになってほしいです。

伝えよう
感謝の気持ち
「ありがとう」

小学生の部
中瀬 乃杏（有田小6年）
『ありがとう』という言葉は言った方も言われた方も良い気分になれる言葉です。ささいなことでも『ありがとう』と言えると思いいます。

健康しあわせ委員会賞

微笑みは
感謝の気持ちを
倍にする

大人の部
喜早 功
感謝の意を評す時、一寸した仕草や笑顔でさわやかに相手に伝わると思つた。

ありがとう
君が笑えば
みんなが笑う

中学生の部
神部 心音（玉城中1年）
「ありがとう」の一言でまわりの空気がよくなり笑顔が増える。

言われてうれしい
言ってもうれしい
ありがとう

小学生の部
中山 拓真（有田小4年）
「ありがとう」という言葉は、言われてもうれしい気持ちになります。

第20回

玉城町社会福祉大会

令和4年1月30日（日）に、社会福祉の向上に貢献された方々の表彰、福祉の作文・標語の表彰発表や、福祉協力校の活動発表など、広く町民の方々へ福祉の啓発を行うことを目的とする社会福祉大会を玉城町保健福祉会館にて開催させていただく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。



福祉協力校活動発表（外城田小学校）

福祉の標語は「ありがとう（感謝）」をテーマに募集しました。福祉の標語は応募総数900を超え、入選した標語は6ページに掲載しています。

なお、福祉協力校の発表等はYouTubeで配信中ですので、是非ご覧ください。玉城町社協もYouTubeチャンネル登録をお願いいたします。

日本赤十字の活動資金の活動資金にご協力をお願いします

1859年にスイス人のアンリー・デュナン（赤十字の創始者）が、イタリヤ統一戦争の激戦地で「苦しむ人は敵味方関係なく救護しなくてはならない」という思いを持つたことが赤十字の始まりです。アンリー・デュナンの誕生日である5月8日を「世界赤十字デー」と定め、日本赤十字社は、その「世界赤十字デー」がある5月に赤十字運動月間を展開しており、玉城町分区でも募金運動という形で赤十字運動月間に取り組みます。

この募金は災害が発生した時、ただちに現地へと医療救護班や救援物資などを届けるために活用されます。玉城町でも平成29年の21号台風被害時に185個の救援物資を届けていただきました。このような赤十字の活動を継続的に行うために、皆様のご支援・ご協力をよろしく願います。

また日赤募金にご協力いただいた自治区を対象に、イベント用のテントや発電機の貸出を行っています。詳しくはお尋ねください。

お問い合わせ

日本赤十字社 三重県支部
玉城町分区 ☎58-6915

5月12日は

「民生委員・児童委員の日」です

5月12日は民生委員児童委員の日として定められています。これは、大正6年5月12日に、民生委員制度の源である済世顧問制度を定めた岡山県済世顧問制度設置規定が公布されたことに由来するものです。

全国民生委員児童委員連合会では、毎年、「民生委員・児童委員の日」である5月12日からの1週間を「活動強化週間」として、民生委員・児童委員（主任児童委員）やその活動について理解を深めてもらうため、全国各地で様々なPR活動に取り組んでいます。

玉城町では、期間中にのぼりを立ててPRを行っています。

玉城町では33名の民生委員・児童委員と2名の主任児童委員が厚生労働大臣から委嘱され、社会福祉協議会内に事務局を置いて活動しています。法に基づく守秘義務があり相談内容の秘密は守られます。一人で悩まず、ご相談ください。

『福祉の就職フェアinみえ』

福祉・保育・看護の仕事をお探しの方を対象に、就職相談会を開催します。

日時…令和4年6月26日（日）

10:00～15:00

※午前はオンラインのみ

会場…メッセウイングみえ

（三重県津市北河路町19-1）

対象…福祉・保育・看護の職場に就職希望、または関心のある一般・学生

※津新町駅から無料シャトルバス運行
※託児室あり

〈予約制 6月17日（金）締切〉
お申込み・お問い合わせ

三重県社会福祉協議会
三重県福祉人材センター
☎059-1227-15160

『福祉・保育のおしごと相談』

福祉・保育の仕事に興味のある方、就労をお考えの方気軽に相談ください。（予約優先）

日時…毎月第3水曜日

14:00～16:00

会場…ハローワーク伊勢

予約・お問い合わせ
三重県社会福祉協議会
三重県福祉人材センター
☎059-1224-11082

令和4年度 社協会費にご理解・ご協力を

社協が取り組む地域福祉活動には、高齢者・障がい児者支援・ボランティア支援などがあります。その活動を支える貴重な運営資金のひとつが、皆さまからいただく「会費」となっています。主に小中学校で行う福祉の取り組みを行っている「福祉協力校の活動費」に充てられています。

安定した財源確保のため、福祉活動にご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。会費の受付は、社協窓口で行っております。

会費の区分	年額（1口）
個人会員	300円
団体会員（福祉施設及び団体、企業等）	5,000円
賛助会員（一定額以上の会費納入者）	10,000円

玉城町社会福祉協議会では、各自治区などの催しに活用いただく物品の貸し出しを行っています。貸し出しは原則自治区や団体を対象とします。

但し、団体会員となっていない場合には、1回会費2口（600円）以上の利用料が必要となります。貸し出し品目は以下のとおりです。

- ・簡易テント（3m×3m）
- ・屋内用低床折りたたみイス
- ・発電機（1500w、900w）
- ・ブルーシート
- ・折り畳み式リヤカー
- ・一輪車
- ・高圧洗浄機
- ・送風機
- ・大鍋
- ・綿菓子機
- ・ポップコーン機
- ・かき氷機
- ・フライヤー
- ・タコ焼き機
- ・ビンゴゲーム
- ・ストラックアウト

※詳しくはお問合せください。

玉城町シルバー人材センター 作業者大募集！

あなたの知識と経験をシルバー人材センターで活かしてみませんか？

人材センターでは、高齢者の積極的な就業促進を行い、活動に喜びや生きがいを感じ、健康な体を維持していくことを目的にセンター運営を行っています。

入会資格 玉城町に住んでいる概ね60才以上の方で、健康で働く意欲があり、センターの趣旨を理解し賛同できる方

入会方法 玉城町社会福祉協議会までお越しいただき、登録用紙のご記入をお願いいたします。ご来館いただける際は、人材センター担当までご一報ください。

配分金 就業した内容により、配分金という形で支払われます。（作業内容によって異なります）

お問合わせ 玉城町シルバー人材センター ☎ 58-6915



しごとの内容	就業場所	日数	対象
清掃・洗濯作業	玉城町内施設	1か月に10日程度	女性の方
草取り作業	玉城町内	月によってかわります	男性・女性
草刈り作業	玉城町内	月によってかわります	男性・女性
剪定作業	玉城町内	月によってかわります	男性・女性

現在、特に上記の作業を行っていただく方を募集しています。

ご寄附(1月～3月)ありがとうございました

阪井昌子様	10,000円
西山多鶴子様	11,600円
元気バス募金箱	60,521円

身近な社協相談窓口ご案内

心配ごと相談（予約不要）

日時：毎月10日、30日 13:00～15:00

場所：玉城町保健福祉会館にて

相談員：民生委員児童委員、人権擁護委員、行政相談員

玉城町社会福祉協議会 情報発信中！

ホームページ

YouTubeチャンネル



👍 イネ！
チャンネル登録、
お願いします！

明るく声かけ玉城の日（毎月第3火曜日）
家庭・地域・学校・職場 いつでも・どこでも・だれとでも
あいさつの輪を広げていきましょう。